



家づくりの防犯対策



今までは構造的な安心・安全な家づくりのポイントを見てきましたが、今回は「防犯」について取り上げます。

法務省の統計データでも犯罪の増加と凶悪化が示されています。

特にここ数年は手を替え品を替えて新しい手口で不正侵入が急増しているようです。

うちは大丈夫！と思っている方も必ずしも100%ではありません。

普通のちょっとした心がけでも実践できる、防犯の方法も合わせて見ていきましょう。



狙われやすい家ってあるの？

空き巣や泥棒の多くは、事前に下見をして犯行に及びます。

●POINT1 人目につかずに侵入できるかどうか

プライバシーの問題に敏感になっている昨今、ほとんどの住宅は外部から見えなように工夫されていますが、死角がある家は泥棒にとって絶好の狙い目です。

●POINT2 逃げやすいかどうか

近隣に公園や駐車場があり不審者がいても気づかれにくかったり、角地の家は建物全体が見渡しやすく、下見もしやすく逃げやすいようです。

●POINT3 住人の生活はどうか

洗濯物を干したまま、暗くなっても電気がつかない、カーテンも閉めない、トイレ等の小窓がいつも開けっ放し・・・などこういった生活の隙間を狙ってきます。

●POINT4 地域性はどうか

指定日以外の日にゴミが出ていたり、地域住民のモラルや連帯感が低い地域や、日中人気の少ない地域は狙われやすくなります。

あなたの家は狙われやすい？狙われにくい？

チェック！！

次からのチェック項目で、Aに当てはまる項目が多い家は、「狙われやすい家」、Bに当てはまる項目が多い家は、「狙われにくい家」となります。

それではやってみましょう！

【A】狙われている！！

- 電柱や塀、一階の屋根など足場になるようなものがある
- 門鍵が付いていない
- 門灯がない
- 植木による死角がある
- 角地で家全体を確認しやすい
- 窓に格子や雨戸がない
- 目に付きにくい勝手口
- 換気のために小窓をいつもあけている
- バルコニーの手摺が腰壁でしゃがむと人が見えない

【B】安心☆

- 2階へ上がる足場がない
- 門に施錠ができる
- 日没センサー付きの門灯がある
- インターホンがある
- 外周に壁や植栽による死角がない
- 近隣とのコミュニケーションがとれている
- 小窓には格子がある
- ドアの鍵は2重ロック
- 窓に防犯フィルムや2重ロックなどの防犯対策がされている
- 格子状で死角のないバルコニー
- 周囲に玉砂利等を敷いている
- 犬を飼っている

さて、結果はどうでしたか？【A】の項目が多かった人は、何かしらの防犯対策が必要になってきますね。



泥棒はどうやって留守の家を見つけるの？

インターホンで呼んでみたり、電話を掛けて確認してきます。

また、その前に新聞受けに新聞や郵便物が溜まっていないかや、雨戸・カーテンが閉まったままではないか、日が暮れても電気が消えたままになっていないかを下見します。

<対策>

長期で不在にする時は、ご近所に声を掛けたり、消費電力の少ない台所や玄関の電気を点けたまま出かけるのも効果的です。



泥棒の侵入口で最も多い場所は？

目立たない小さな窓かと思いきや、掃き出し窓が一番多いです。鍵が掛けられていても、ガラスを割って侵入してきます。

<対策>

全ての窓に共通して、外出する時はトイレやキッチンの小さな窓も含めて鍵をかけましょう。

ガラスが割れにくくなる防犯フィルムを貼ったり、補助錠を取り付けて、簡単に開けられない工夫をしましょう。



泥棒はどの時点で侵入をあきらめますか？

侵入するのに要する時間で、2~5分で7割があきらめ、どんなに長くても10分以上かかるとほとんどがあきらめる、という統計がでています。

但し、泥棒は建物の死角などがあれば、時間はあまり関係ないようです。

<対策>

10分以上かかっても開けられない窓にしましょう。

ガラス自体を割れにくいものにする、防犯フィルムを貼るといった窓本体への対処をする方法もあります。

プライバシーとの関係もありなかなか難しいですが、なるべく死角をつくらないこともひとつの方法です。

また、万が一ガラスを割られた場合も考え、感知センサーや補助錠をつける等、複合的に対策をとるとより防犯性が増します。



泥棒に狙われやすい時間帯は？

家の中を物色する時間で、一番多いのは5~15分。泥棒が犯行に好む時間帯は、午前8時~午後1時、午後1時~午後4時の、人が外出する時間帯です。

<対策>

「ちょっとそこまで」と思って、家の窓に鍵を掛けずに外出することは控えましょう。

もし、あなたの家が狙われていたとしたら、その隙をみて侵入される可能性大です。

小・中・高と陸上部だった私にとって、箱根駅伝と世界陸上はかかせません。

現在開催されている世界陸上は、ベルリンとの時差で、ほとんど中継をみることはできませんが、朝のニュースや次の日のハイライトをみるだけで、またあのトラックで走りたい！という衝動にかられます。

若い世代へと代わりつつある、日本選手団の活躍を期待したいと思います。

鶴岡建設株式会社

編集:建築設計室 建築設計係 中村 香菜
ご意見・ご感想お待ちしております。
お気軽にお寄せ下さい⇒ kana@turuken.co.jp



泥棒が犯行をあきらめる理由！

- ・ 侵入口が開けにくかった
- ・ 近所の人にジロジロ見られたり、声を掛けられた
- ・ 犬を飼っていたから・・・などの理由でした。

<対策>

普段からご近所の方たちと交友を持ち、地域で防犯意識を持つことが理想的です。

泥棒はネクタイにスーツといったサラリーマン風の装いで犯行に及ぶことが多いので、容姿に関わらず普段見かけない人には声を掛けるようにしましょう。

また、指定日以外の日にゴミが出ていたりなど、地域住民のモラルや連帯感が低い地域では、泥棒に仕事がいやしいと思われてしまうので、日頃の生活態度にも注意をしましょう。

窓ガラスの防犯方法

※空き巣の侵入方法では、窓ガラスを壊すガラス破りが6割以上を占めます。

<ガラス破りへの対策>

- ・ ロック機能付き、または鍵付きクレセントを取り付ける
- ・ 二重ロックにする
- ・ 防犯合わせガラスを取り付ける
- ・ 防犯フィルムなどを貼り、窓ガラスの強度を高める
- ・ 格子・雨戸・窓シャッター等を取り付ける

<代表的な窓ガラスの種類と防犯上の効果>

低

網入り
ガラス

製造過程で金網や金属線を封入し、火災による延焼防止を目的としたもの。見た目は頑丈そうですが、防犯的な効果は望めません。

強化
ガラス

板ガラスを加熱・急冷して製造し、ガラスの強度を高めたもの。角の丸いものからの全面への衝撃は強い強度を示しますが、鋭利なものからの集中的な力には弱く、一気に全面的に破損してしまいます。

ペア
ガラス

(複層ガラス)

ガラスとガラスの間に乾いた空気の間層を設け、周辺をシリコン等で窓枠と固定し、断熱効果を高めたもの。2枚のガラスを割るのに手間がかかること、ガラスの周囲が固定されているためガラスの破片を取り除きにくいことなどの点からみると、防犯性は少しあると思います。

合わせ
ガラス

2枚以上のガラスを強靱な樹脂中間膜で接着して一体化したもの。割るのに3分以上かかり、かつ大きな音がします。

防犯
合わせ
ガラス

構造は合わせガラスと同じですが、中間層の厚さが0.8mm以上のものをさします。中間層をさらに厚くしたり、ガラスを多層化したり、破りにくいポリカーボネート板などを挟んだりするなど、さらに防犯性が高められています。

防犯性

高

価格の面で考えると、防犯合わせガラスは普通ガラスの5倍程度といわれているので、防犯フィルムを窓ガラスに貼ることで、現在お使いの窓ガラスに強度を持たせる方法をおすすめします。